



## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	駅前エリアを活用した商業活性化事業		
予算額	1,000	千円	新規・拡充 継続の別 新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>市、商工会、観光協会（以下「市等」という。）が連携し、市内事業者等による協議会を立ち上げ、市等の協力の下、当該協議会が主体となって定期的に商業振興を目的とした市（マルシェ）等の活性化事業を開催する仕組みづくりを行うことにより、市内事業者のPRの場として商業振興を図るとともに、活性化事業が市内外に認知されることにより本市の観光の振興並びに駅前空間におけるにぎわいの創出を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>本市産業振興ビジョンの基本戦略の一つに「各商業集積地への来街促進」を掲げており、そのための事業として「マルシェ等商業イベントの開催支援と店舗への誘導」を行うこととしている。本市の商業集積地である北・中・南部地域のうち、北部地域では「京田辺農福観地域づくり協議会」によるマルシェが定期的開催されている。一方、中部地域では、商工会により令和5年度「昼市・夜市アベニュー」、南部地域では令和4年度「スマイルストリート」がそれぞれ一度開催されている。</p> <p>本市以外の地域においても同様に「市」や「バル」などの商業イベントが開催されているが、地元商業者により構成される商店街振興組合や事業協同組合など商店街組織が中心となり、当該商店街エリアで実施されているケースが多く、事業者の自主性がイベント事業の継続に繋がっている。本市には令和5年度時点、商店街組織が存在しておらず、京田辺市商工会が実施する事業に頼っている状況にある。</p> <p>このような状況を踏まえ、市内事業者を中心とする協議会が、市内事業者の商業振興を主な目的とするマルシェなど活性化事業を開催できるように仕組みづくりを行っていくことにより、今後の本市の商業振興につなげるものとする。まずは、商工会、観光協会及び市が連携しながら事業者を中心とする協議会組織を立ち上げ、試行的に近鉄新田辺駅西側にて活性化事業を実施していく。</p>  <p>（昨年のスマイルストリートの様子）</p>		
担当所属名	経済環境部 産業振興課	直通電話番号	64 - 1319

## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	中小企業売上拡大等支援事業		
予算額	40,000	千円	新規・拡充 継続の別 新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>物価高騰の影響を受けている中小企業者が積極的に行う売上拡大やコスト削減に向けた新規取組に対して、京田辺市商工会と連携し支援を行うことにより事業者の利益拡大に繋げることを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>1 対 象 者 物価高騰の影響を受けている中小企業者</p> <p>2 対象事業 売上高拡大やコスト削減に向けた新規取組（経営改善に向けた取組、商品の販売促進に関する取組、省エネ対策、固定客獲得に向けたイベントなど）に対して支援する。</p> <p>3 そ の 他 物価高騰の影響を受けていること、売上高拡大やコスト削減に効果がある取組に該当するかの確認を京田辺市商工会が行う。 補助率・補助上限金額は以下のとおり。 【補助率】 中小企業：補助対象経費の1／2以内 小規模事業者：補助対象経費の2／3以内 【補助金額】 最大20万円（千円未満切り捨て）</p>		
担当所属名	経済環境部 産業振興課	直通電話番号	64 - 1364

## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	観光づくり計画策定事業（甘南備山）		
予算額	11,500	千円	新規・拡充 継続の別 新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本市には、甘南備山や天理山古墳群など地域の歴史観光資源に加え、国宝、重要文化財、史跡、名勝など数多くの文化財がある。これらを活用するとともに、新たな観光資源の掘り起こし、磨き上げを行うことで、まちの魅力を高め、地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>平安京が定められるとき、甘南備山は南の起点として重視され、北の船岡山を結ぶ直線を都の中心軸に朱雀大路などが建設されたという伝承をもとに、このことがイメージできる展望台（休憩施設）を、甘南備山の白石付近に新たに整備する。</p> <p>ここを訪れる多くの人々が、かつて平安京があった京都市街地の眺望を楽しみ、のんびり休憩できるとともに、文化芸術活動等にも活用するなど、京田辺市ならではの魅力的な観光スポットとするもので、令和6年度は整備に向けた基本計画・実施計画を策定する。</p> <div data-bbox="635 1498 1302 1937">  </div> <p>（現在の甘南備山三角点付近平地）</p>		
担当所属名	経済環境部 産業振興課	直通電話番号	64 — 1319

## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	観光・交流によるにぎわい可能性調査事業		
予算額	8,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>歴史文化のある一休寺、甘南備山、更には今後、歴史観光資源としても活用が見込まれる天理山古墳群を加えたエリアを本市中部の観光の中心と位置づけ、当該エリアに観光・交流によるにぎわいの創出を図る事業実施の可能性を探ることを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>当該エリアには、観光客がみやげもの等を購入する店舗が少なく、観光消費の機会を十分に提供できていないという懸念がある。</p> <p>今後、甘南備山や天理山古墳群などの地域資源の掘り起こし、磨き上げなどを行っていくのと合わせて、特産品の販売や観光情報の発信など観光・交流による賑わい創出のための事業可能性調査を行うもので、令和6年度は市内事業者や関係機関を中心にサウンディングを実施し、市場性等を把握した上で、具体の事業化を総合的に検討する。</p>		
担当所属名	経済環境部 産業振興課	直通電話番号	64 - 1319



## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	特別栽培米普及促進事業		
予算額	3,100 千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>令和3年5月、国において策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて令和4年7月1日に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」第5条の規定により、地方公共団体が、法の基本理念に則った施策を策定し実施する責務を有するとされた。</p> <p>これに伴い、慣行農業に比べ、化学肥料、農薬の使用を50%減にして栽培された本市産「特別栽培米」を生産する農業者を支援するとともに、同米を小中学校給食で使用するにより、環境への負荷の低減に取り組む。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>・農業者が「特別栽培米」をJA京都やましろに出荷した場合、一袋あたり200円を交付する。</p> <p style="text-align: center;">200円／袋×5,000袋＝1,000千円</p> <p>・「特別栽培米」を小中学校給食の主食米として使用することし、購入価格の一部を補助等する。</p> <p>小学校給食 1,300千円</p> <p>中学校給食 800千円</p>		
担当所属名	経済環境部 農政課 教育部 学校給食課	直通電話番号	64 — 1362 64 — 1393

## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	農業用資材価格高騰対策支援事業		
予算額	30,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本事業は、近年の農業用資材価格の高騰により、特に施設園芸作物等の資材費が多くかかる高収益作物を生産する農業者に対して、既存の府・市の補助メニューでは対象外となっている農業用資材について、改修に係る費用を支援することで、物価高騰の影響を軽減し、持続的な営農の推進を図ることを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>認定農業者等（法・市認定農業者、認定新規就農者、農業者が組織する団体）を対象に、施設園芸作物及び特産農作物の栽培のために不可欠な資材費について、改修事業費（材料費・処分費・工事費等）の30%（上限100万円）を補助する。</p> <p>・ 補助対象 ハウス（ビニール）、茶（寒冷紗）、なす（支柱等） 等</p>		
担当所属名	経済環境部 農政課	直通電話番号	64 - 1362

## 令和6年度 当初予算主な事業

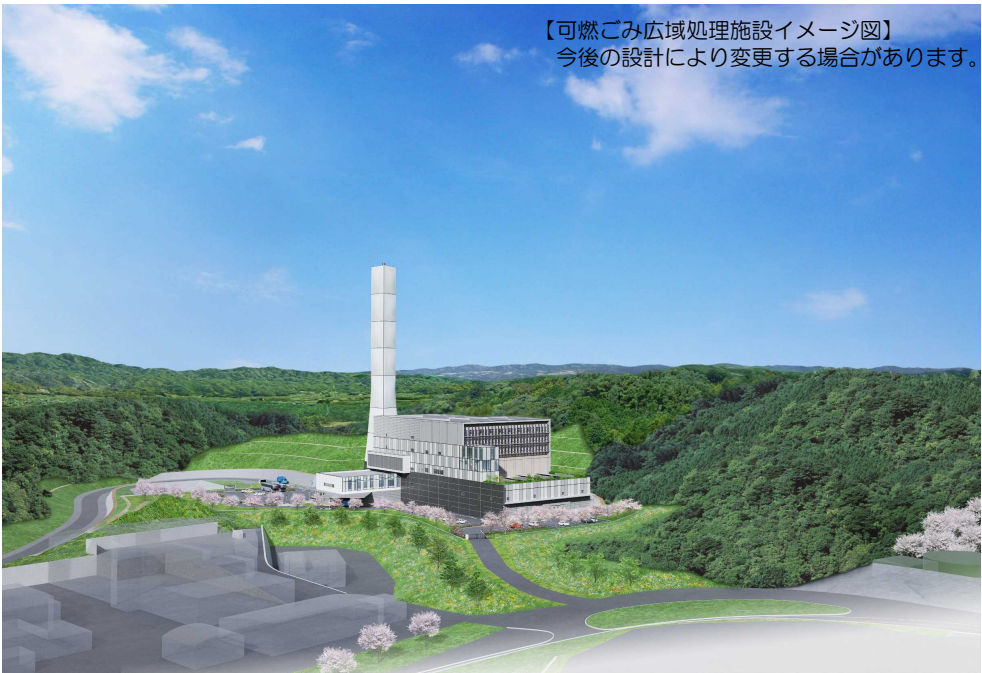
事業名	田辺排水機場更新事業		
予算額	121,160	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>造成後約60年が経過した綴喜西部土地改良区所有の田辺排水機場では施設の老朽化が著しく、安定した運用を行うにあたり改修が必要である。また流域の開発等により排水量が増加していることから排水能力の強化も同時に行われる予定である。本市として農地はもとより市街地の安全安心を確保するため、事業に対して支援を行う。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>排水機場の建て替えと木津川への放水路の付け替え及び排水ポンプの更新が行われる。その際に排水能力は現況の2倍に強化される。本事業について補助金を交付する。</p> <div>   </div>		
担当所属名	経済環境部 農政課	直通電話番号	64 - 1362

## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	エコまどりノベ推進事業（断熱窓改修補助）																		
予算額	1,000	千円	新規・拡充 継続の別 新規																
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本市では、令和3年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」をし、令和5年3月に第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び京田辺市ゼロカーボンオフィス実行プランを策定した。 当該計画に基づき、市が具体的な取組を推進することを目的としてゼロカーボンシティ実現に向けた支援を行う。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>デコ活実践に向けた家庭のエコ支援補助金（千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>名称</th><th>内容</th><th>予算額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>住宅用蓄電池システム等設置補助金</td><td>太陽光と蓄電池の同時設置者に対する補助金（蓄電池1kWhあたり2万円（上限12万円） 太陽光発電1kWあたり1万円（上限4万円）+1万5千円 補助金額最大175,000円/件）60件</td><td>10,500</td></tr> <tr> <td>2</td><td>雨水タンク設置補助金</td><td>雨水タンク設置者に対する補助金（対象経費の3/4 補助金額最大45,000円/件）15件</td><td>450</td></tr> <tr> <td>新規 3</td><td>断熱窓改修補助金</td><td>一戸建て住宅の窓の断熱改修工事に対する補助金（対象経費の1/10 補助金額最大50,000円/件）20件</td><td>1,000</td></tr> </tbody> </table> <p>※デコ活とは、環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称を国民に公募し決定した言葉。 ※二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉。</p> <p>○ 住宅の窓を断熱化することによる効果</p> <p>窓の断熱改修は、省エネによる光熱費削減だけでなく、健康や快適性の向上にもなる意外にお手軽で最も効果が高い住宅改修である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>例えば健康面では <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートショックを減らす</li> <li>・高血圧症を防ぐ</li> <li>・夏の熱中症を防ぐ</li> </ul> </li> <li>例えば快適性では <ul style="list-style-type: none"> <li>・外からの音が静かになる</li> <li>・結露が減ってカビも減り、お掃除が楽になる</li> </ul> </li> <li>その他にも <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖かくなって一家団欒が楽しくなる</li> <li>・ガラスが複数になって泥棒に狙われにくい</li> </ul> </li> </ol>				名称	内容	予算額	1	住宅用蓄電池システム等設置補助金	太陽光と蓄電池の同時設置者に対する補助金（蓄電池1kWhあたり2万円（上限12万円） 太陽光発電1kWあたり1万円（上限4万円）+1万5千円 補助金額最大175,000円/件）60件	10,500	2	雨水タンク設置補助金	雨水タンク設置者に対する補助金（対象経費の3/4 補助金額最大45,000円/件）15件	450	新規 3	断熱窓改修補助金	一戸建て住宅の窓の断熱改修工事に対する補助金（対象経費の1/10 補助金額最大50,000円/件）20件	1,000
	名称	内容	予算額																
1	住宅用蓄電池システム等設置補助金	太陽光と蓄電池の同時設置者に対する補助金（蓄電池1kWhあたり2万円（上限12万円） 太陽光発電1kWあたり1万円（上限4万円）+1万5千円 補助金額最大175,000円/件）60件	10,500																
2	雨水タンク設置補助金	雨水タンク設置者に対する補助金（対象経費の3/4 補助金額最大45,000円/件）15件	450																
新規 3	断熱窓改修補助金	一戸建て住宅の窓の断熱改修工事に対する補助金（対象経費の1/10 補助金額最大50,000円/件）20件	1,000																
担当所属名	経済環境部 環境課	直通電話番号	64 - 1366																



## 令和6年度 当初予算主な事業

事業名	可燃ごみ広域処理施設整備事業（枚方京田辺環境施設組合負担金）		
予算額	398,710	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>可燃ごみ広域処理施設建設を行う枚方京田辺環境施設組合への負担金。 令和7年度末の稼働に向けて令和5年度から施設建設工事を実施中。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>枚方京田辺環境施設組合負担金      398,710千円</p> <div data-bbox="477 1346 1469 2016"> <p>【可燃ごみ広域処理施設イメージ図】 今後の設計により変更する場合があります。</p>  </div>		
担当所属名	経済環境部    ごみ広域処理推進課	直通電話番号	63    —    2679